

平成22年度 学校評価最終報告書

小松市立御幸中学校

		自己評価			学校関係者評価		次年度の方向 (改善計画等)
		評価項目と具体的取組	評価指標	達成度判断基準	取組の状況	達成 状況	学校関係者評価による意見
①	組織的な 学校運営	【組織的な学校運営】 各自が自己の職務を全うしながら、適切な連絡・相談・助言を通して、有機的な相互協力を行う。	【満足度指標】 提案や建設的意見がよく出され、前向きに取り組んでいるか。新しい取り組みが計画されているか。	よりよい学校づくりの提案が A:1人平均5件以上 B:1人平均3件以上 C:1人平均2件 D:1人平均1件未満	・多忙な中で、共通理解のための話し合いや取り組み、提案を行ってきた。	B	・保護者アンケートで90%の家庭が安全やヘルメットの着用を注意していると答えている。 ・ヘルメットの着用に関する指導をPTA活動でも取り組めばどうか。 ・各主任の機能的な動きをすすめ、各種委員会の充実を図る。 ・新校舎への引っ越しにもない、書類や備品の整理、整頓を計画的に行う。 ・新校舎への移転にあわせて、避難訓練や、職員の研究などを、防災対策を徹底する。
		【学校事務】 通達・報告文書や公的諸帳簿および金銭出納簿が適切に処理・保管されている。	【満足度指標】 遅滞なく処理され、保管も適切で経理も明快であるか。	文書の処理・保管・経理が A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない	・文章の整理や分類、経年文書の共通理解や整理がきちんとなされており、スムーズな処理と保管がなされている。	A	
		【危機管理】 災害訓練が計画され、健康・安全対策が適切にとられ、危機管理対策が適切である。	【満足度指標】 避難訓練や安全対策、適切な施設・備品の管理がなされているか。	訓練・安全対策・管理が A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない	・年間計画が作られ、対応マニュアルの整備ができています。 ・定期的な安全点検と、日々の確認・補修が行われています。 ・交通事故の防止のため外部機関と連携して交通安全教室を開催しています。また教職員と保護者が協力し、交通安全やヘルメットの着用についての指導を行っています。 ・不審者対策のために、保護者全員による巡回指導やPTAの委員によるパトロールが行われています。	B	
②	確かな 学力の 育成	【授業改善】 学校教育目標に基づいた指導計画が立てられ、授業形態や内容など人的資源を活用し、適切に設定されている。	【満足度指標】 計画的な授業実践がなされ、授業力改善シート活用や、授業時数確保が万全か。	計画・実践・回数に A:満足である。 B:ほぼ満足である。 C:やや不足である。 D:不足である。	・指導計画に基づき、計画的に進め、時数確保に取り組んでいる。行事で欠けた授業についても、別の日に設定したり、授業短縮措置でも欠時を最小限に工夫する。遠足、修学旅行では特別時間を作成している。時間割も3つの時間割を作成し時数確保を図っている。 ・授業の相互参観や、授業力改善シートを活用することにより、授業力の向上に努めている。 ・1学期末に授業や学習に関する生徒の自己評価アンケートを実施し、課題の把握と対策を検討している。	B	・生徒アンケートでは授業がわかる、自主的に学習したり、質問すると答えた生徒の割合が増えている。 ・国際理解にも絡めて英語力の向上が望まれている。・生徒の理解度の把握してほしい。(関係者評価) ・生徒アンケートでは授業がわかると答えた生徒が83%に増え、楽しいと感じる生徒も増えている。 ・新学習指導要領に向けての移行指導や準備など対応を深め、授業の充実を図る。 ・学校研究主題を教科の授業改善に定め、学力向上を図る。
		【指導計画・指導記録】 各教科での指導計画が適切に作成され実行されているか。教育課程におけるそれぞれの指導記録がしっかり整備されているか。	【成果指標】 授業参観・模擬授業ができたか。指導記録が整備され、毎月の提出確認、内容の充実が図られているか。	記録・提出が A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない	・指導記録の確認がきちんとなされており、各教科で研究課題を持ち、授業参観、授業反省、研修に取り組んでいる。	A	
		【指導法の改善】 創意工夫に基づき、きめ細かな指導に心がけ、生徒の意欲を高め、基礎学力定着のための工夫をしている。	【満足度指標】 打合せを密にし、工夫、打ち取り組み、研修会参加など成果が上がっているか。TT、少人数教育が機能しているか。	打ち合わせ・改善・成果に A:満足である。 B:ほぼ満足である。 C:満足とはいえない。 D:不足である。	・少人数授業の工夫や、選択授業の運用を通じて基礎基本の定着に取り組んでいる。具体的には少人数授業アンケートや、数学では2、3年生は1クラスを2分割し、習熟の度合いに応じてきめ細かく授業を行った。1年生の数学・理科・英語でTT授業を行った。3年生の数学は1時間増加させ、3時間の数学を4時間で充実させている。英語科では全学年授業時数を3時間から4時間に1時間増加させている。	B	
③	豊かな 心身の 育成	【道徳教育】 各教科・領域との関連を明らかにした全体計画と指導計画がなされ、道徳の時間の充実に努める。	【満足度指標】 年間計画に従って実践し、研修計画や時数も確保されているか。研究授業・模擬授業整理会を伴う実践研究を行う。	道徳の時間の充実に A:満足である。 B:ほぼ満足である。 C:満足とはいえない。 D:不足である。	・他学習領域との関連を明示した計画がなされ、年間計画に基づき授業を進めている。また保護者の授業参観の際に道徳の授業を公開したり、激励会の時にも授業参観を行うなど機会を増やしている。 ・4月入学時に新入生保護者に対して、道徳アンケートを実施し、その結果に基づいて本年度の重点項目を設定している。	B	・生徒アンケートでは部活動や課外活動が楽しいと感じる生徒の割合が、74%と減っている。・カウンセリグルームの利用の促進を(関係者評価) ・全職員の相互補完を(関係者評価) ・保護者アンケートでは95%の家庭が中学生には携帯電話は必要ないと答えているが、フィルタリング等の予防策はまだ60%程度である。 ・先生方はとても頑張っているらしい。 ・問題行動の見られる生徒の行動の改善を望みます。 ・挨拶、礼儀などのマナーの充実が必要。
		【特別活動】 集団の一員としての自覚を高め、良き校風作りのために、自主的・実践的活動となるように工夫している。	【満足度指標】 年間計画、生徒会テーマが確立され、事前指導もよく、十分な成果を設定しているか。人間関係づくりの実践活動も取り入れているか。	計画・事前指導・成果が A:満足である。 B:ほぼ満足である。 C:満足とはいえない。 D:不足である。	・各担当からきめ細かい計画が出され、実際に即した実践がなされている。 ・進路指導では2年生で系統的な職業教育を展開し、3年生では1学期から高校説明会を行い、夏休みの体験入学につなげている。 ・生徒会活動も年間テーマのもと、日々の地道な活動を通して学校生活の向上を図っている。 ・部活動では離脱を最小限におさえ、意欲や興味関心をそれぞれのレベルで高め、人間形成を図っている。	B	
		【生徒指導】 全教職員の共通理解と相互補完をしながら、適切な配慮、意識をもって指導に当たっている。	【満足度指標】 職員会議などで情報交換、共通理解の場をよく持ち、適切な対応ができて成果があるか。	理解・対応・成果が A:満足である。 B:ほぼ満足である。 C:満足とはいえない。 D:不足である。	・大多数の生徒は集団のルールを理解し、積極的に対応、適応しようとしているが、集団にうまく適応できず問題行動の見られる生徒も一部見られた。 ・定期的な面接の機会を設け、学期に1回、3年生については適宜、進路相談、進路希望調査を通じて懇談、理解を図ってきた。カウンセリグの手法を研修し生徒理解に努めている。教育相談担当教室、保健室、カウンセリグルーム活用など各方面での支援を工夫している。	B	
④	健やかな 身体 の 育成	【健康教育】 食事、睡眠、運動など、食生活や生活習慣の改善、考慮が十分にされている。	【満足度指標】 自己の健康管理や、成長への自己管理がうまくできているか。心の教育への配慮がなされているか。	予防対策とその成果として A:常に適切な対応ができた。 B:ほぼ適切であった。 C:やや不適切であった。 D:不適切であった。	・保健だよりや食通信が定期的に発行され、栄養教諭が積極的に授業を行うとともに、各担当・部活担当など様々な分野での健康への配慮がなされている。	B	・各種のたよりやさまざまな時間を利用し、健康や性、食に関する生徒の意識を高める。
		【性教育】 異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する生徒の育成に努める。	【満足度指標】 全学年に講演会指導がなされ、個々の人格形成の高揚とともに、相互尊重の意識が高まったか。	計画・指導・成果が A:満足である。 B:ほぼ満足である。 C:満足とはいえない。 D:大いに課題が残る。	・指導計画が確立され、有効な指導が取り組まれている。 ・今年度より、各学年で外部講師による思春期の性講座を開催した。	A	
		【食育推進】 各教科、領域と関連しながら食に関する指導を行う。	【満足度指標】 栄養教諭の活用や、計画を立てて家庭的な実践への浸透が図られたか。	残菜O、朝食・夕食完全摂取が A:達成できた。 B:ほぼ達成できた。 C:やや課題が残った。 D:大いに課題が残った。	・給食だよりや食通信が定期的に発行され、栄養教諭が積極的に授業を行うとともに、各担当・部活担当など様々な分野での健康への配慮がなされている。	B	
⑤	家庭・ 地域との 連携	【参加・協力】 地域に密着した理事会の運営と支援で、保護者のPTA行事への積極的な参加をはかる。	【満足度指標】 保護者が積極的に行事に参加する体制、機会を作ることができたか。	保護者の各行事の参加率が A:90%以上 B:80%以上 C:50%以上 D:50%以下	・1年生の保護者全員が委員会活動に参画するなど積極的な行事計画がなされている。理事会についても地区代表を交え、年度替わりの役員変更に関する説明を最小限に対応している。 ・親子奉仕作業は雨天中止となったが、保護者170名の参加が予定されていた。保護者全員によるパトロールも計画され地域との連携にも配慮されている。 ・校下小学校との懇談会も教員相互で新入生を対象とした懇談会、授業参観がなされた。 ・1学期末に全保護者を対象に学習や生活に関するアンケートを実施し、その結果を基に課題と対策を検討している。	A	・PTAの委員会活動に1年生の全保護者が参加するという本校の特色を生かし、PTA活動の保護者参加を促進する。 ・地域行事への参加を多数の生徒に広めるために、ボランティアなど誰もが参加できる機会を増やす。
		【情報交換】 相互の委員会活動においても、積極的な活動ができ、全体に配慮した情報の共有や活用がなされている。	【満足度指標】 理事会の運営のあり方が、適切で、情報交換や、理事会、教職員、保護者の相互の意識が高まったか。	全保護者・公職者との情報交換が A:よくできた。 B:できた。 C:やや課題が残った。 D:大いに課題が残った。	・PTA理事会は組織的に運営され、インシアティブが取られている。自主的な形で運営、実行されている。1年生保護者全員が参画する委員会活動も、今後3年間、わが子の通う学校を知る意味でも、良い機会にできる。 ・校下小学校との懇談会や、保護者進路学習のための高校探検に保護者53人の参加があった。職場体験への協力も高率であり、今年度は36の事業所で体験を行う。学校からも適宜、情報が伝えられ円滑に連携がとれる努力をしている。	A	
		【地域との連携】 町内、地域の子への参加を促し、地域の子は地域という視点で促進する。	【努力指標】 生徒の参加割合が A:90%以上 B:80%以上 C:50%以上 D:50%以下	・校下の敬老会や、行事に演奏楽器やボランティアの生徒が積極的に参加した。 ・立志の集いへの参加はまだ100%であるとはいえないが、部活動の大会等と重なったこともあり、やむを得ないところがあった。	B		